

# OPU Students 海外留学レポート

Study Abroad Report from the OPU students

## プロフィール (Profile)

氏名 (Name) 福島卓弥  
所属 (School) 人間社会システム科学研究科  
学年 (Grade) 修士 1 年

留学先 (Name of overseas institution)  
Prince of Songkla University  
留学期間 (study abroad period)  
2018/03/25~2018/03/29

記入日 (Date) 2018/03/30



## 留学レポート Study Abroad Report

2018/03/26-2018/03/27 にタイ・プーケットにて開催された国際学会 The First IEEE International Symposium on Artificial Intelligence for ASEAN Development (ASEAN-AI 2018) に参加し発表を行いました。プーケット島はタイの中でも非常に有名なリゾート地です。この学会では ASEAN の今後の発展のために、AI 技術を様々な問題に応用する研究発表が行われる学会です。私自身も AI の技術をサッカーに応用した研究プロジェクト RoboCup に関する研究を発表しました。最近話題になっているディープラーニングの発表が多く、色々な観点から問題に取り組んでいることを知り、新しい考え方を学ぶ非常によい機会でした。一方で、自身の発表時はスピーキングが、質疑応答の際や他者の発表を聴講した際にはリスニングがまだまだ不十分であったことを痛感し、積極的に海外などに出張し英語能力を鍛えることが必要であることを再認識しました。



学会発表の様子 (左：発表, 右：質疑応答)

2 日間の学会後に、プリンス・オブ・ソングクラ大学 (Prince of Songkla University: PSU) を訪問した。PSU には、大阪府立大学で勤めていた橋本喜代太先生が現在 P S U に勤めていることもあり、快く学内を案内してくださいました。最も賑わっているプーケットの街から車で 30 分ほどのところに位置し、コンピュータ工学から観光学まで、幅広い学問を学べる非常に大学です。観光学部の校舎内には、実際に飛行機内での接客を練習するために、校内に飛行機のようなものが置いてありました。



プリンス・オブ・ソングクラ大学 (左：キャンパス, 右：校舎内にある飛行機)

PSUの学長と挨拶を交わし、その後学内を案内していただきました。学内のなかには下の写真のようにジオラマがあり、現在の問題点やその解決案などを事細かに説明してくださいました。例えば、下の写真を例にとると、タイの水位を観測し、危険になればAIが自動で警告を出すという研究です。タイは短時間に非常に大雨が降る「スコール」の影響により洪水になることが多いそうです。純粋に水位を図るだけではスコールによる急激な水位変化に対応できず警告が遅れてしまうという問題点があるため、AIを用いることでこの問題を解決することを試みているそうです。非常に難しく、また興味深い研究であると感じました。



校内のジオラマを用いた研究紹介

また学生間で自分の研究テーマを紹介するという機会を与えてくださいました。PSUの学生が何を行っているのかを知るいい機会でした。それだけではなく自身の研究を英語で紹介し、知ってもらうチャンスでもありました。幸い、「サッカーを行うAI」は背景が非常にわかりやすいので、私の未熟な英語でも理解してくださり皆さんに非常に興味を持ってもらいながら現在の問題点、今後何を目指していくのかを議論できました。



学生や先生方に自分の研究プロジェクトを紹介している様子

私が泊まったホテルはプーケットで最も有名なビーチ「パトンビーチ」に近かったので、学会終了後に少し観光もしました。夕方であるにもかかわらず多くの人々が賑わい、楽しんでいる様子が写真から伝われば幸いです。海外留学によって、その国を知ることができます。それだけでなく、英語力やその国の知識など、自分の足りない部分がはっきり見えてくるので、自分自身を知ることできます。今回、タイにいったことで、色々な人と接し、色々な文化と触れ合うことで自分自身を振り返りながら成長できました。このような機会を与えてくださったことを本当に感謝しています。



パトンビーチの様子